

YELL

メール
第22号

那須教育事務所ふれあい学習課
〒324-0056 栃木県大田原市中央 1-9-9
Tel:0287(23)2177 FAX:0287(23)2193
Mail:nasu-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

V o l . 2 2 平成25年2月

ステップアップ研修のまとめ②

梅の便りが待ち遠しい今日この頃ですが、今年花粉の量が例年よりも多いようです。ちょっと憂うつな方もいらっしゃるのではないでしょうか。

さて、今号も前号に続いて11月に行われた那須地区社会教育主事有資格者ステップアップ研修兼地域教育コーディネーター養成研修について御報告します。前号では主に事例発表に関する内容を掲載しましたが、今回はグループ演習で考えたモデル事業について取り上げていきたいと思ひます。

演習は、中学校区ごとにグループになり、そこへ近くの公民館職員等が入り、「地域と学校が連携した活動や行事等のモデル事業」を考えました。(内容については、前号配布のステップアップ研修のまとめを御覧ください。)考えていただいた内容を分析すると、5つの視点が見えてきました。

- ① 学校(小中高)と地域(公民館)それぞれの行事で共通するものを合わせて実施する。
(例) 黒羽中学校区文化祭、ハロープラザ祭
- ② 新たな地域課題に学校と地域が協力して取り組む。
(例) 地域防災計画
- ③ 現在行っている学校行事を地域に広げる。
(例) THE EKIDEN
- ④ 地域の資源(歴史・文化・自然・施設等)を活用する。
(例) 目指せ! 那須マイスター、地域探検ウオークラリー～地域10選食べ歩き～、3

世代でランドゴルフ

- ⑤ 普段行っている授業(学校)や事業(公民館)で協力できることをお互いに補い合う。

(例) 学校へ行こう、地域の伝統食について、ボランティアバンクの充実

これらの視点は、学校と地域が連携する際に、ヒントになると思ひます。これらの視点をもとに、学校と地域の関係を見直してみると、連携できることが見えてくるかもしれません。ぜひ、今後とも各校で工夫をしながら、生涯学習係や有資格者の先生方が中心となり、地域との連携を推進してほしいと思ひます。

最後に、今回は地域教育コーディネーター養成研修も兼ねていた関係で、公民館職員等の方々も参加していました。実施後のアンケートでは「学校の近くにある公民館に、学校と地域を連携させる力があることを再確認できた。」「地区の先生方とコミュニケーションがとれて良かった。お互いにもっとコミュニケーションをとるべきだと痛切に感じた。」などの感想が寄せられました。お互いに、連携の重要性を感じているので、本研修を機会にボランティアの情報を公民館に求めたり、逆に先生方が公民館の情報を学校に広報したりするなど、親密な関係が築かれることを期待しています。まずは、近くの公民館に足を運んでみてはいかがでしょうか。

「とちぎの学び」広域講座の御案内

すばらしい歴史、自然、文化にあふれた、ふるさと「とちぎ」
「とちぎ」のすばらしさを見つめ、「とちぎ」の未来を考える講座です。

日時：平成25年3月9日(土)
13:30～16:30(受付13:00～)

場所：栃木県総合教育センター

対象・定員：一般県民 50名

参加費：無料

お問い合わせ：総合教育センター生涯学習部
TEL028-665-7206 FAX028-665-7219

講話：「下野のおくのほそ道を歩く」
講師：元なす風土記の丘資料館館長
桑野 正光 氏

インタビューフォーラム
郷土の歴史や自然を生かした地域づくり
～芦野の里づくり活動の実践から～

講師：芦野の里づくり委員会会長
大場 宏雄 氏

